

埼玉県三郷市で掘削された沖積層ボーリングコア (GS-MUS-1) の堆積相と中川低地における開析谷の横断方向の層相変化

Sedimentary facies of GS-MUS-1 core and lateral transition of facies succession in incised-valley under Nakagawa Lowland

江藤 稚佳子 [1]; 田辺 晋 [2]; 石原 与四郎 [3]; 中西 利典 [4]; 中島 礼 [2]; 木村 克己 [5]

Chikako Eto[1]; Susumu Tanabe[2]; Yoshiro Ishihara[3]; Toshimichi Nakanishi[4]; Rei Nakashima[2]; Katsumi Kimura[5]

[1] 福岡大・院; [2] 産総研・地質情報; [3] 福岡大・理; [4] 産総研・地質; [5] 産総研, 地質情報研究部門

[1] Earth System Sci., Fukuoka Univ.; [2] GSJ, AIST; [3] Fukuoka Univ.; [4] GSJ, AIST; [5] GSJ,AIST

中川低地の地下には、最終氷期世最盛期までに解析された谷地形が存在し、沖積層によって埋積されている。この地域では、(独)産業技術総合研究所の都市地質プロジェクトによって、埋没谷を横断する方向で沖積層の層序・堆積相を検討するためのオールコアボーリングが3本の掘削されている。ここで得られた沖積層は、堆積相解析と放射性炭素年代値に基づいて、下位から河川チャネル充填堆積物の礫-砂礫層、氾濫原-塩水湿地堆積物の砂泥互層、泥質干潟堆積物の泥層、内湾(プロデルタ-デルタフロント)堆積物の泥層、河川チャネル充填堆積物-氾濫原堆積物の砂泥互層で構成されていることが明らかにされている(石原ほか, 2004)。本研究では、中川低地地下の埋没谷の東端で掘削されたボーリングコア GS-MUS-1 の堆積相解析を行い、その詳細を明らかにすると共に、埋没谷の右岸および中央部で掘削されたボーリングコア GS-SK-1 (石原ほか, 2004)、GS-MH-1 と対比を行うことで、埋没谷の横断方向での層相の変化を検討したので、その結果を報告する。